

# 会 議 録

会 議 名	第2回 環境パートナーシップ会議設立準備会会議録						
開 催 日 時	平成15年9月2日(火) 午後6時00分～午後8時40分						
開 催 場 所	宇都宮市役所 14階D会議室						
出 席 者	準備会委員	青木 章彦		荒木 廣治		大野 邦雄	
		大谷津 孟		陣内 雄次		高橋 悟	
		御子貝 荒江		三宅 徹治		森本 久子	
		山形 雅美					
	ワークショップファシリテーター	岡田 雅代					
事務局	宇都宮市環境企画課宇梶統括グループリーダー他7名						
公開・非公開	公開・傍聴人なし						
議 題	<p>議 事</p> <p>(1) 協働の基本原則(案)について</p> <p>(2) 「(仮称)うつのみや環境パートナーシップ会議」における会議の活動内容について</p> <p>(3) その他</p>						

発言要旨 【1. 協働の基本原則(案)について】	
三宅委員長	議題1, 環境パートナーシップ会議における協働の基本原則(案)について事務局より説明をお願いします。
事務局	別紙1「協働の基本原則(案)について」のとおり説明。
三宅委員長	ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明について、ご意見がございましたらお願いします。
委員一同	<b>(異議なし)</b>

発言要旨 【2. 「(仮称)うつのみや環境パートナーシップ会議」における会議の活動内容について】	
三宅委員長	議題2, 「環境パートナーシップ会議」における会議の活動内容についてに移りたいと思います。今後, 来年設立する環境パートナーシップ会議で具体的な環境保全活動を

	<p>行っていく内容について決めていくわけですが、今回はその第一段階として、皆様にご提案いただいた具体的な活動内容から、グループ化し、できれば、ワーキンググループの名称までをワークショップの手法を用いながら協議をするものです。協議にあたっては、岡田様にご支援いただきながら進めたいと思います。それでは、岡田様にごあいさつをいただき、本日を含めた第2回～第5回までのプログラムの内容などについてご説明いただいた後、さっそくワークショップの手法を用いて協議していただきたいと思います。岡田様よろしくお願いいいたします。</p>
岡田講師	<p>今日行うことは、来年度以降、具体的にどのようなことをやっていくのか、いろいろなアイデアを出していただくことです。また、来年度の予算に上げられるよう第5回目の会議くらいまでには具体的なグループにしていきたいと思います。まず、最初は、協働の基本原則の中にもありましたように、協働的にやろうということが、このワークショップでできるメリットだと思います。だから、まずは実現性を考えなくても構わないので、のびのびと提案をしていただきたいと思います。次に、多分、多岐にわたって出てくると思いますが、なるべく皆さんで協議しながら整理をしていって、ワーキンググループの名前まで決められればと思っています。</p> <p>次回以降のスケジュールについて、別紙2「環境パートナーシップ会議設立準備会 ワークショップ企画(案)」について説明。</p>
	<p>ワークショップ開始のため委員全員席移動。</p>
岡田講師	<p>それでは、1分くらいで行いたい活動内容をシートに書いてみてください。</p> <p>では、そろそろ発表をしていただきます。まずは、事務局の方から今日欠席の方の提案を代読していただきます。</p>
事務局	<p>神宮委員と藤原委員からご提案いただいておりますので、代わりに読ませさせていただきます。</p>
岡田講師	<p>時間が限られてますので、皆さん全員に話していただきたいので、発表時間は2分間にさせていただきます。</p>
事務局	<p>神宮委員提案代読。</p> <p>住民やメーカーなどの事業者へ、ごみ処理の現状の情報を発信し、分かり易く的確に伝えるというご提案をいただきました。この内容の活動の狙いといたしまして、住民や消費者すべての立場の人たちが、ごみ処理の現状を知ること、一歩ずつ譲る心を育て、勝手に作って勝手に使うという今の状態から脱却し、ごみの減量につなげていくということであります。神宮委員の提案は以上です。</p>
事務局	<p>藤原委員提案代読</p> <p>環境にやさしい優良企業を表彰する。をご提案いただきました。</p>
岡田講師	<p>では、次は青木委員お願いします。</p>
青木委員	<p>一つ目は、エコミュージアムとエコツアー、そしてグリーンツーリズムは、循環型社会にするための一つの基本と考えていて、エコミュージアムに密着したエコツアーやグリーンツーリズムをやることによって、地域の中の経済ができるのではないかと考えています。二つ目は、環境活動するためには、それを支援するNPOが必要であるため、NPOを作ることです。三つ目は、この会議を運営するためには、情報発信しなければいけないので、この会議のポータルサイトを作ることです。四つ目は、水系ごとの流域探検をしたいということ、スターウォッチングをしたいということ。</p>
岡田講師	<p>エコミュージアムとエコツアーとグリーンツーリズムの違いを教えていただきたい。</p>

青木委員	エコツアーとグリーンツーリズムは流行っているが、そのことを実現するために、エコミュージアムを創っていくことによって、地元の中で地域のことを発見できるし、他の地域との交流も生まれるので、その中で経済が生まれてくる。それに基づいて、環境に負担を掛けずに地元が潤う。エコツアーが体験で、考え方、理念自体はツーリズムです。
岡田講師	では次に荒木委員お願いします。
荒木委員	<p>生き物が住める農業地域を再生する。具体的には、蛸とかメダカとかがすめない状態なので、昔のように住めるように再生しようということ。</p> <p>緑の回廊を実現する。宇都宮市内に残っている平地林を整備して、それらがつながって回廊になること。実際に回廊にするのが困難であれば、飛び石でもいいのではないかな。</p> <p>田んぼや畑、平地林が混在する環境を保全する。</p> <p>学校のプールで育ったヤゴをトンボに育てる活動をする。</p> <p>平地林を保全するといっても、どういう風に活用するのかを考える。</p> <p>生ごみの再利用と循環を実現する。</p>
岡田講師	では次に大野委員お願いします。
大野委員	<p>パークアンドライドの実現。</p> <p>受動喫煙対策運動を起こしたい。健康に害があるのが分かっているが、しかも、やればできることが、中々できてない。喫煙者と非喫煙者とが共生できるような社会を作っていきたい。</p> <p>環境家計簿キャンペーンを広めたい。小さなことから誰でもがやれる内容、やれる人がやっていけば、少しずつでも環境活動が広がっていくのではないかな。</p> <p>アイドリングストップ運動を高めたい。規制をかけただけでは難しいので、遵守されているのかを監視する体制または、クリーンキーパーを制度化する。</p> <p>環境対策を分かりやすく伝えたい。環境対策に対する正しい知識を伝えたい。</p> <p>環境のモデル地域を作りたい。</p>
岡田講師	クリーンキーパーとはどういったものなのか。
大野委員	測定そのものもなかなか難しいところがあるので、測定方法の確立と、実際にある規制がきちんとなされているかどうかをチェックする。
岡田講師	では次に大谷津委員お願いします。
大谷津委員	<p>家庭版ISO，学校版ISO，事業所版ISOを進めていく。</p> <p>ホームページを利用した環境Uネットにより情報提供を行う。</p> <p>太陽光発電，低公害車などの新エネルギーの導入促進を図る。</p> <p>環境学習を実践できるリーダーを育成する。</p> <p>効果的な環境学習プログラムを作成する。</p> <p>環境学習センターの機能充実を図る。</p>
岡田講師	では次に陣内委員お願いします。

陣内委員	<p>環境にやさしい学校を作っていきたい。ハードもソフトも含めて、子供たちが長い期間を過ごす学校について環境にやさしいものにしていきたい。</p> <p>中心街に環境政策スクールを開校したい。</p> <p>エコカーによるカーシェアリングの実施。</p> <p>車を使わないで暮らせるモデル街区の整備。</p> <p>学生によるエココミュニティーレストランの立ち上げ・運営。</p> <p>ビオトープネットワークの整備。</p> <p>環境教育カリキュラム宇都宮市版を検討して作っていきたい。</p> <p>環境共生型住宅作り。</p>
岡田講師	では次に高橋委員お願いします。
高橋委員	<p>環境に関する情報を提供する。自然の問題を考えるにしても、環境の問題を考えるにしても、知ることから始まるため、情報がなければならない。</p> <p>自然環境についての情報に詳しい人と連携する。</p> <p>体験型の野外学習の事業を実施する。現在、水辺教室、ホテル観測会等の事業を行っていて、参加している子供たちは目を輝かせている。その子供たちが、将来の大人になるため、体験型の学習は必要だと思う。</p>
岡田講師	次は仁平委員ですが、今日は欠席ですので、提案を事務局に代読してもらいます。
事務局	<p>仁平委員提案代読。</p> <p>仁平委員からは8つの提案をいただいております。</p> <p>環境教育の出前。簡単に言うと、生物の仕組み、ごみ処理等の技術、ノウハウを持つ人を登録し、学校、職場、町内会等の要請に応じて派遣するという内容です。</p> <p>市版環境ISOの認定。こちらの提案に関しては、難しいISOではなく、家庭、学校で可能な宇都宮方式の「ISO」ではなく仁平委員は「U(宇都宮のU)SO」というものを作りたいとおっしゃってまして、達成した人や、事業所を認定するという内容です。</p> <p>モデル地域の生き物再生等環境保全事業。これに関しては、市内数ヶ所の平地林を主とするところをモデル地域として設定して、たくさんの生き物が棲めるような所にするという内容です。</p> <p>環境学習センターのモデル活動。これに関しては、クリーンパーク茂原を拠点施設といたしまして、用具のリユースや、母と子への環境童話朗読等のモデル活動を提示するという内容です。</p> <p>環境フェアの開催。これに関しては、年1回の環境祭りを開催して、NPO活動、企業活動の具体的事例などを提示していき、情報交流を図っていくという内容です。</p> <p>生ゴミコンポスト化と有機農業利用。これに関しては、特に、調理前の生ゴミをコンポスト化し、有機栽培農業の堆肥化を進めるものです、という事で、この環境パートナーシップ会議では、どちらかという「芽だし」ということで、その事業を実施することではないとおっしゃってました。</p> <p>環境情報を交流する。これに関しては、廃棄物、温暖化等のテーマごとにみんなが参加できるシンポジウムやワークショップなどを定期的に行うといった情報交流ということの提案です。</p> <p>環境報告書(年報づくり)。これに関しては、市では、今年度から環境基本計画の達成状況を環境状況報告書という年報のようなものを作っているのですが、それを、例えば、市民と行政が協働で分かりやすい年報にまとめていこうという内容です。</p>
岡田講師	では次に御子貝委員お願いします。

御子貝委員	<p>平地林が少なくなり、農業委員会では、放置されている農地に木を植えるという許可をおろすんですが、そこに植える木がクロキなんですが、せめてもみじとか、ブナとはいわなくても落葉樹を植えてほしいと思う。</p> <p>高速道路の側道の周辺がゴミの道になっているのが目に付く。</p> <p>雑草とか、枝を焼却することで消毒にもなる。これをやらないと、作物を作っていくために薬を使わなければならなくなる。年1回、野焼きをすることで、野ねずみとか虫が殺されて、その後がいいもち草がでて、それを摘んでお餅にすることができる。これをやらなければ、よもぎもなかなか生きられず、土になってしまうという問題もある。</p> <p>環境にやさしい無添加の食べ物を子供たちに提供していく。</p>
高橋委員	<p>野焼き等について少し説明してもいいですか。野焼きは基本的に禁止になっているが、家庭等でやっている焚き火までを禁止している訳ではなく、それは普通の生活の中でやってもらって構いません。事業者等が自分の事業で出たゴミを何の配慮も無く燃す事が禁止されているので、落ち葉たきみたいなのは禁止されているのではない。また、野火焼きは農業者等が自分達のためにやっているものなので、基本的には禁止事項の中に含まれている訳ではありません。ただ、迷惑を掛けないようにやっていただきたい。</p>
大野委員	<p>私が思ったのは、家庭でやっている、普通のゴミとか落ち葉とかを一緒に燃やしているので、そこでダイオキシンが発生するから、一般家庭での焚き火は禁止されていると思っていたので、情報の受け取り方で解釈が変わるために、情報を分かりやすく伝えたい。</p>
岡田講師	<p>では次に三宅委員お願いします。</p>
三宅委員	<p>市内の大気汚染マップをリアルタイムで表示する。</p> <p>宇都宮市のうまい水に誇りをもつ運動をする。</p> <p>廃棄物発生量の地区別管理を行う。</p> <p>マイバック運動や過剰包装の廃止運動を推進したい。</p> <p>家庭における節水運動を行う。</p> <p>各家庭で緑を増やす運動を行う。</p> <p>里山、樹林地の管理整備する市民運動を展開する。</p> <p>市民参加の宮環花いっぱい運動。</p> <p>水と親しめる川作り運動。</p> <p>環境リーダーの育成と登録を行う。</p> <p>企業の環境活動を市民の教育の場として活用する。</p>
岡田講師	<p>では次に森本委員お願いします。</p>
森本委員	<p>中心地にエコロジーショップとUブランド構想。</p> <p>旧市街地を活性化するために、中心地がエコロジースペースになるための仕組みづくり。</p> <p>ゴミ減量対策（生ゴミの堆肥化）</p> <p>子供達の健康対策としての有機給食，塩素プール，紫外線対策を学校，教育委員会へ働きかけ。</p> <p>化学物質の軽減，シックスクール，シックハウス対策，電磁波対策等への取り組む姿勢。</p>
岡田講師	<p>では次に山形委員お願いします。</p>

山形委員	<p>自転車で移動するキャンペーンを行う。          駐車を有料化する。          アイドリングストップのキャンペーンをショッピングセンターの駐車でやる。          町の緑化のため、個人や団体で育て増やした植物を、無料配布したり交換したりする場を作る（緑化の推進）          自然とのふれあい体験の機会を増やす。          都市化された街を元の形に戻して、「理想的な街」にする。</p>
岡田講師	<p>「駐車を有料化する」をもう少し詳しくお願いします。</p>
山形委員	<p>街の中心部以外は、たいていは無料の駐車場があり、本当はそういう所から始めたいが、交通機関のこともあるのでなかなか難しいため、市役所や出張所などの公的なところから始めて、駐車場はお金がかかるといったイメージを作りたい。</p>
岡田講師	<p>みなさんの提案が終わり、たくさんアイデアがでて、いくつかのグループに整理されたので発表したいと思います。</p> <p>【川と水のグループ(おいしい水を維持する活動)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水系（田川，釜川等）ごとに流域探検をしたい。</li> <li>・宇都宮市のうまい水に誇りをもつ運動をする（水環境）。</li> <li>・水と親しめる川づくりを推進する（自然の公益的機能）。</li> <li>・家庭における節水教育を推進する（水資源）。</li> </ul> <p>【環境・健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に優しい学校等の実現。</li> <li>・子供達の健康対策として、有機給食，塩素プール，紫外線対策を学校，教育委員会へ働きかけ。</li> <li>・化学物質の軽減，シックスクール，シックハウス対策，電磁波対策等への取り組み姿勢。</li> <li>・受動喫煙対策運動を起こしたい。</li> </ul> <p>【大気に対する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライドを実現したい。</li> <li>・太陽光発電，低公害車などの新エネルギーの導入推進を図る。</li> <li>・駐車を有料化する。</li> <li>・「自転車で移動しよう！」というキャンペーンを行う。</li> <li>・大気汚染対策を進めたい。</li> <li>・雑草，枝を焼却することで消毒することもある。</li> <li>・アイドリングストップ運動を高めたい。</li> <li>・アイドリングストップのキャンペーンをショッピングセンターの駐車でやる。</li> </ul> <p>【環境情報の提供・交流に関する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議のポータルサイトを作る。</li> <li>・住民やメーカーなど事業者へごみ処理の現状の情報を発信し，分かりやすく的確に伝える。</li> <li>・ホームページを利用した環境Uネットにより情報提供を行う。</li> <li>・環境対策を分かりやすく伝えたい・知りたい。</li> <li>・市内大気汚染マップのリアルタイム表示をする。</li> <li>・環境に関する情報を提供する。</li> <li>・環境報告書（年報づくり）</li> <li>・環境情報を交流する。</li> <li>・環境フェアの開催。</li> </ul>

- ・環境学習センターの機能充実を図る。
  - ・環境活動支援NPOを作る。
- 【環境学習(プログラム)を考える活動】
- ・環境リーダーの育成と登録を行う。
  - ・環境学習を実践できるリーダーを育成する。
  - ・自然環境についての情報に詳しい人と連携する。
  - ・効果的な環境学習プログラムを作成する。
  - ・環境教育カリキュラム(宇都宮市版)の検討・実行。
  - ・環境教育の出前。
  - ・環境学習センターのモデル活動。
- 【中心部にショップ(コア)を作る活動】
- ・中心街にて環境政策スクールの開校。
  - ・エコロジーショップ, Uブランド構想。
  - ・学生によるエコレストランの立ち上げ, 運営。
  - ・都市化された街を元の形にもどし「理想的な街」にする。
  - ・旧市街地の活性化。エコロジースペースになるための仕組みづくり。
  - ・マイバック運動・過剰包装廃止運動を推進する(省資源)。
  - ・スローフード運動を進めたい。
  - ・エコショップが環境情報発信基地(スタッフに情報発信者)。
  - ・自然エネルギーの導入。
- 【平地とビオトープ・保水力】
- ・田, 畑, 平地林の混在する環境を保全する。
  - ・平地林が少なくなり, 四季折々の楽しみがなくなって寂しい(植林する木を選ぶ)。
  - ・里山, 樹林地の管理整備をする市民運動を展開する。
  - ・緑の回廊(緑の飛び石?)を実現する。
  - ・平地林の活用を考える。
  - ・ビオトープ, ビオトープネットワークの整備。
  - ・生き物が棲める農業地域を再生する。
  - ・学校のプールで育ったヤゴをトンボに育てる活動をする。
  - ・モデル地域の生き物再生等環境保全事業。
  - ・市民参加の「宮環花いっぱい運動」を展開する。
  - ・町の緑化のため, 個人や団手で育て増やした植物を無料配布したり交換したりする場を作る。
  - ・各家庭での緑を増やす運動を推進する。
- 【ごみ関連の取り組み】
- ・生ゴミコンポスト化と有機農業利用。
  - ・生ごみの再利用と循環を実現する。
  - ・ゴミの減量対策, ゴミの堆肥化。
  - ・高速道路の側道周辺がゴミの道になっている。
  - ・廃棄物発生量の地区別管理を行う。
- 【環境管理活動, 推進活動(協働による)】
- ・市版環境ISOの認定。
  - ・家庭版環境ISOを普及・促進する。
  - ・環境に優しい優良企業を表彰する。
  - ・(仮称)事業所版環境ISOを創設, 普及・促進をする。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校版環境ISOを普及・促進する。</li> <li>・環境家計簿キャンペーンを広めたい。</li> <li>・環境のモデル地域を作りたい。</li> <li>・環境共生型の住宅づくり。</li> <li>・エコカーによるカーシェアリングの実施。</li> <li>・車を使わないで暮らせるモデル街区の整備。</li> </ul> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンツーリズム</li> <li>・エコツアーツーリズム</li> <li>・タウンウォッチング</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然とのふれあい体験」の機会を増やす。</li> <li>・体験型の野外学習の事業を実施する。</li> </ul> <p>少し時間はオーバーしましたが、大体9つ位にまとめられましたので、次回また話を進めたいと思います。どうもありがとうございました。</p>
	委員全員席移動。
三宅委員長	それでは、ありがとうございました。だいぶイメージが固まってきましたが、まだまだですので、次回もまた岡田様にご支援をいただきながら、協議を進めていきたいと思えます。それでは、議題3.その他に移りたいと思えます。事務局の方で何かありますか。
事務局	特にございません。
三宅委員長	みなさんの方からは何かありますか。
大野委員	今回策定した環境基本計画の中に、京都議定書にあるような目標は入れなくてもいいのか。市民を交えた環境対策をしなくてもいいのか。
三宅委員長	環境基本計画の中にも特に無かったと思えますが。事務局お願いします。
事務局	今後、京都議定書が発効することに伴い、より具体的な目標達成計画が国から示されると思えます。そのため、宇都宮市においても、その目標を踏まえた上で、より良い計画を作った方がいいのではないかとこの考え方の下に、目標を入れた新たな計画については、今の段階では研究段階ということで、検討をしているところです。
三宅委員長	わかりました。それでは、その他に何かありますか。
委員全員	特になし。
三宅委員長	それでは、来月の日程について事務局からお願いします。
事務局	次回は10月上旬を予定しております。
三宅委員長	みなさまのご協力によりまして、本日の会議を無事に終了することができました。長時間に渡り積極的なご協議をいただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして第2回環境パートナーシップ設立準備会を閉会したいと思います。ありがとうございました。
閉会：午後8時40分	